

はごろも

平成三十一年 二月 四日
発行者 校長 仲村 宗男

通録23号



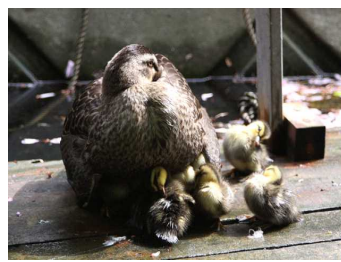
6学年英語の授業

JTEの大浦裕佳先生が1年2組担任になったため、後任として1月8日より井上一代先生が赴任しました。

子育てとは・・・

子育ては、己（おのれ）を育てると書いて、「己育て」と言われます。つまり、子育てを通して、お父さん、お母さん自身が育つ・自己成長すると、昔の人は、表現しました。また、はぐくむ（育む）とは、「親鳥が雛を羽の下で抱いて大切に守り、いつくしみ、育てる」ということです。昔の人は、素晴らしい表現をしたもので、「はねを含む」「はふくむ」「羽含む（はぶくむ）」が転じて「育む」になったと言われています。子育ては財産作りです。人生八十年の中で一時（いっとき）です。決して長くありませんので、ヌチカジリ（一生懸命）頑張つてほしいと思います。十二月の学校だよりで、「徒歩登校の奨励」に触れましたが、一人でも下校できないような過保護はいけません。下校途中で雨が降り、濡れたら、すぐに着替えて髪の毛はタオルでしっかり拭くなどの対処法を教える、ほしいと思います。正に生きる力をはぐくんでいただきたいのです。子育てで大事なことは「言葉かけ」です。言葉は言霊（ことだま）です。沖縄の諺に「くとうばじんじけー」があります。その意味は、子どものやる気が出る、言葉のシャワーをいっぱいかけ、やる気を出させてあげることです。子どもは、学校で頑張ってきますので、親鳥が雛を抱くように、うんと褒めて優しく包み、ハグしてあげてください。子どもの良い点を見つけて褒めて伸ばしてください。

最後に、学校の様子をさらに理解するために、PTA役員になることをおすすめします。子育てに必要な情報がうんと入ってきます。また、保護者同士の絆を深める、架け橋としての役割も担います。私は、宜野湾市PTA連合会に関わっており、各学校のPTA役員の方と話す機会が多くありますが、異口同音に「やって良かった。」と言います。夜の会合等、忙しくなりますが、それ以上にメリットが沢山あります。次年度、PTA役員になることをおすすめします。学校と家庭で深く連携して楽しく子育てを頑張りましょう。



受け継がれる真志喜大つなひき

1月31日（木）、三学年の社会科授業の一環として、真志喜区の伝統行事である大綱引きの出前授業が行われました。この内容は、2月3日の沖縄タイムスでも大きく取り上げられ、子どもたちの生き生きした活動風景が紙面を飾りました。

授業の開会あいさつの中で、私は子どもたちに「去年、真志喜や大山の大綱引きに行きましたか？」と質問したところ、160名中、手を挙げた子は、3～4名ほどしかいませんでした。

また、12月に実施した保護者アンケート（回答622名）では、「地域の行事に参加したり、協力していますか？」の問いに対し、32%の保護者が「そう思う・だいたいそう思う」と回答しており、地域への関心の低さが課題となりました。

はごろも小学校は、「地域とともにある学校」をキャッチフレーズに、宜野湾市で初めての地域協働学校（コミュニティ・スクール）となりました。

はごろも小学校には、大山・真志喜・宇地泊の3行政区には、それぞれ特色ある行事や取組があります。お子さんの健やかな成長を図るためには、お住まいの行政区の行事や取組を理解され、地域の良さを感じ、「地域の中で守り、育てていく」という協働意識を持つことが大切だと思います。



二月の行事

- ① 二月 五日 授業参観日（2・4校時）
- ② 二月 十五日 市内特別支援学校（3校時）お別れスボレク大会（市立体育館）
- ③ 二月 二十日 沖縄県学力到達度調査 ※午後授業と集計作業があります。